

## 目標達成計画

作成日: 2020年 1月 23日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	利用者の家族の高齢化、世帯状況もあり家族と関わる生活や支援関係が薄くなっている状況。利用者の「家に帰りたい」の言葉も聞かれており、家族の絆を大切にしている積極的な取り組みと行事の休日化、日用品購入依頼、運営推進会議録をご家族報告する事。	家族と気軽に外出、外泊できるような環境作りを構築する。 施設へ入居をしたから安心では無く、家族関係が継続出来るように支援して行く。	日用品の補充もこちらでお小遣いから購入していたが、なるべくご家族から購入してホームへ持ってきて頂きご本人に会ってご家族が外出に連れて行けなくてもご本人に積極的に合って頂く機会を作る。運営推進会議録を送付し運営内容をご家族に広く知っていただく。	6ヶ月
2	26	介護計画作成に至る一連の作業は計画作成担当者が中心となり行っている。今後は、利用者の直接支援に関わる担当職員と役割分担し、よりそれぞれの意見やアイデアを反映できるような仕組み作りが望まれる。	役割を分割し、お客様1人1人の意見を反映させる。	現在カンファレンスは居室担当者が中心となっている。よりご本人の意見を尊重する為に居室担当者はご本人の希望を聞きだせる環境作り、時間を設け、カンファレンス時に意見を出し介護計画に生かして行く。	4ヶ月
3	26	計画の支援内容を意識した記録を残すことで、ケアの統一を図るとともにモニタリングの根拠を明確にしていく必要がある。また、会議に家族の参加を得て話し合う機会を持つことで、より良い介護計画になると思われる。	介護記録にケアプランの内容に沿った記録を残す。	外部評価時、ケアプランの内容が分かりにくくスタッフがケアプランの内容を覚えられないと指摘があった。今後はスタッフが覚えやすく簡易的なプランの作成と、スタッフが目につく場所にケアプランを掲示するようにする。	4ヶ月
4	35	災害訓練での地域住民の訓練参加、協力を得られる体制構築。 階段を使用した避難方法を消防から協力を得て安全な避難方法を習得する取り組みが必要。	町内会、地域住民参加型の避難訓練を行う。 2階から安全に避難誘導できるようにする。	運営推進会議の日に避難訓練を行い実際に非難訓練に参加して頂く。 消防に相談し安全な避難方法の習得を行い、実際の避難訓練の立会い時にアドバイスを頂く。	6ヶ月
5	40	食事中、職員がキッチン内での作業に入っており利用者の横で一緒に食事を取らずとも一緒にお茶を飲みながら語らうなど食事の時間が和やかになるような取り組みが必要。	食事の時間を有効活用し、お客様との会話を楽しめる時間を作る。	食事の際にお客様の傍らに座りながら話をする時間を作る。実際に作った料理の味の感想を聞いたりする。	1ヶ月